

大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）

総会

兵庫県からの報告



兵庫県環境部水大気課

ひょうご豊かな海づくり県民会議

ひょうご豊かな海づくり県民会議の設立

豊かで美しい海づくりを目指し、公民連携による県民総参加の運動を展開するため、令和5年7月27日「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を設立。75→192 会員に拡大

活動方針

- 豊かな海づくりを県民総参加の運動へと発展させていくために、多様な主体が取り組む豊かな海づくり活動のネットワーク化を推進。団体相互の情報共有や活動の連携と普及啓発を積極的に展開。

豊かな海づくりに向けた取組を推進

- 生物生産性回復に向けた栄養塩類供給策の検討
- 藻場拡大とブルーカーボンクレジットの活用検討
- ノリのブルーカーボンとしての可能性検討
- 海洋プラスチックごみ問題と資源循環

情報共有

取組のネットワーク化・発信力強化
プラットフォーム機能

会員間の連携促進

区 分		設立時の主な会員
企業	栄養塩類増加措置	・(株)神戸製鋼所 ・関西熱化学(株) ・(株)カネカ ・多木化学(株) ・サントリープロダクツ(株)
	地産地消	・(株)ワールドワン
	企業の森づくりSDGs	・川崎重工業(株) ・兵庫ダイハツ販売 ・ニッスイ ・横河電機
NPO等		・須磨里海の会 ・相生湾自然再生学習会議 ・ひょうご森の倶楽部 ・たじま海の学校
関係団体	水産関係	・兵庫県漁業協同組合連合会 ・ひょうご豊かな海づくり協会
	環境関係(栄養塩類)	・ひょうご環境創造協会 ・瀬戸内海環境保全協会 ・国際エマックスセンター
	森・川・里	・ひょうご森林林業協同組合連合会 ・兵庫県内水面漁業協同組合連合会 ・兵庫県農協中央会 ・土地改良事業団体連合会
	消費者	・生活協同組合コープこうべ ・兵庫県生活協同組合連合会
	レジャー	・日本釣振興会兵庫支部 ・フィッシングマックス ・淡路島観光ホテル ・ヤマ-船舶用システム
大学・研究機関		・神戸大学 ・兵庫県立大学 ・神戸常盤大学 ・吉備国際大学
マスコミ		・神戸新聞社 ・サンテレビジョン ・ラジオ関西 ・兵庫エフエム放送
行政機関		・県(環境、農林水産、土木など) ・沿海市町



ひょうご豊かな海づくり県民会議

活動内容

- 会員団体等の取り組みや兵庫県の施策等の発信
- 豊かな海づくりへの理解・取り組み促進のためのイベント開催
- 会員が企画するイベント等の発信
- ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催
- 豊かな海づくり活動に取り組む各団体への支援
- 会員相互のマッチング 等

加入対象

- 豊かな海づくりに取り組む、または関心がある以下のもの
 - ・自治体
 - ・教育機関
 - ・企業
 - ・個人
 - ・団体

加入のメリット

- 会員が主催するイベント等の情報を発信・受信が可能
- 豊かな海づくりに取り組む活動団体とのつながりを持つことが可能
- 県内での取り組みをいち早く入手可能。県民会議HPにて、活動団体を公表
- 会員向け活動支援有（次頁参照）

県民会議 会員募集中！

～あなたも豊かな海づくりに参加しませんか～

県民会議ホームページから簡単に登録できます！

<https://hyogoyutaumizukuri.wixsite.com/official>




公式テーマソング
いのちをつなぐ碧い海

ホーム 県民会議とは MOBA部会とは 豊かな海づくり活動 支援事業 お知らせ

県民会議とは？

- 豊かな海づくりに取り組む
官民学のさまざまな団体同士のつながりを構築
- 会員団体等の取り組みや兵庫県の施策の情報発信

入会案内はこちら

豊かな海とは？

会員の活動紹介

NEW お知らせ

2025年6月8日
【6/8開催】2025大阪・関西万博「BLUE OCEAN FES」に出展しました

2025年5月29日
【告知】2025大阪・関西万博「BLUE OCEAN FES」へ出展します

2025年5月23日
【5/23開催】ひょうご豊かな海づくり県民会議第3回総会・特別講演を開催しました

2025年4月16日
【終了しました】ひょうごZ世代里山・里海環境リーダー育成プログラムの参加者募集

ひょうご豊かな海づくり県民会議

(1) 豊かな海づくり活動支援事業（令和5年度～） ※今年度の募集は終了しています

兵庫県内で豊かな海づくり活動に取り組む団体を支援し、県民総参加での豊かな海づくりを目指す。

【内 容】

補助対象者	「ひょうご豊かな海づくり県民会議」の会員もしくは会員が含まれる団体
補助対象活動	清掃活動 イベント開催・出展 普及啓発・PR活動 ブルーカーボン・グリーンカーボンの保全
補助金の額	令和6年度：上限14万円 令和7年度：上限15万円

<採択団体数>

令和6年度 14団体

令和7年度 12団体

令和7年度 / 応募開始！ /

**ひょうご豊かな海づくり県民会議
豊かな海づくり活動支援事業補助金**

兵庫県内で豊かな海づくり活動に取り組む団体に対する補助金です。

補助上限 15万円/団体
※申請状況により不採択や減額の場合あり

補助対象経費

- ・物品購入費 ・印刷製本費 ・賃借料
- ・広報費（HP制作、PR資材制作等） ・保険料
- ・謝金、交通費 ・通信費 ・会場設営費
- ・その他経費（イベント出展、調査研究にかかる経費など）

※補助対象外経費については交付要綱をご覧ください。

団体要件等

以下の全てを満たすこと。

- (1) 県民会議の会員もしくは会員が含まれる団体であること。
- (2) 兵庫県内に活動拠点があること。
- (3) 政治的活動又は宗教活動を目的としない団体であること。
- (4) 今後も継続した活動が見込まれる団体であること。

※豊かな海づくり活動の積極的な情報発信に努めること。

審査の視点

- (1) 活動団体が自主的かつ継続的に事業活動を行えるか
- (2) 事業内容の計画性・実現性が十分か
- (3) 事業の執行体制や資金計画が明確か
- (4) 事業内容に十分な公益性か公共性があるか
- (5) 事業内容に波及効果が期待できるか

申請書提出〆切 令和7年5月28日(水)

【お申込み・お問い合わせ】
ひょうご豊かな海づくり県民会議事務局（兵庫県環境部水大気課内）
TEL 078-362-3468
FAX 078-362-3966
Mail mizutaiki@pref.hyogo.lg.jp

[ひょうご豊かな海づくり県民会議](#) [検索](#)

交付要綱および様式は上記HPからダウンロードできます。

ひょうご豊かな海づくり県民会議

(2) ひょうご豊かな海づくり推進大会（令和5年度～）

団体、企業、学生等による豊かな海づくり活動の取組事例発表、豊かな海づくりに関する展示など、会員や県民が広く参加する推進大会を開催する。

○令和6年度の内容

- ・第45回兵庫県民農林漁業祭（兵庫県立明石公園千畳芝）において開催
- ・2日間で延べ約14,000名（19日約4,000名、20日約10,000名）来場
- ・ひょうご豊かな海づくり県民会議はブルーカーボンをテーマに展示
 - ワークショップとして魚の塗り絵やクイズを実施
 - 参加者にノベルティグッズプレゼント

＜MOBA会員の出展＞

兵庫県漁業協同組合連合会、日鉄神鋼建材(株)、(株)中山製鋼所、海洋土木(株)、日本リーフ(株)、J&T環境(株)
〈順不同、敬称略〉



⇒ 令和7年度も同様に実施予定（令和7年10月18日(土)、19日（日） 於、兵庫県立明石公園）

ひょうご豊かな海づくり県民会議

(3) イベント情報等発信アプリ「ためまっぷ」の導入（令和7年度～）

「ためまっぷ」とは？

イベント情報等を簡単に投稿でき、GPS連動の地図上で確認できる掲示板アプリ。

神戸発のスタートアップ企業（ためま(株)）が提供するサービスで、神戸市をはじめ洲本市、広島県府中市、宮城県名取市など多くの自治体が活用中。

特徴

① イベントチラシを写真や画像でそのまま掲載可能

文字入力や複雑な操作が少なく、これまで紙媒体で発信していた方でも簡単に自分で情報発信が可能。

② 距離を絞り込み近くの情報だけ閲覧可能

閲覧する方（ユーザー、広く「県民」）は、地図上で表示距離を絞り込み、身近なイベントが埋もれにくい仕組み。

「今日、今からでも行ける身近なイベントを5秒でキャッチ」がコンセプトの1つとなっている。

③ 運営者が投稿権限を付与し、手間なく安全に管理可能

運営者（県民会議事務局）が投稿権限を付与した団体（県民会議の会員）のみが投稿可能。投稿時に承認作業は不要で、投稿後も運営者が一括管理でき、安全に管理が可能。



イベントを実施する会員は、簡単に開催日時・場所を広く発信可能。

住民や会員は、近隣で開催される活動を瞬時に把握できる。思い立ったらすぐに参加や連携可能。

→ **取組の輪がさらに広がる！**

⇒ 令和7年8～9月頃に公開予定

藻場・干潟保全・再生・創出推進事業及びブルーカーボンのクレジット化推進事業

(1) ひょうごブルーカーボン連絡会議（令和5年度～）

ブルーカーボンとして重要であり、水質浄化及び物質循環の機能も有する藻場等の保全・再生・創出を促進するとともに、ブルーカーボンのクレジット化を検討するため、学識者、地域団体、企業、行政等からなる連絡会議を設置。構成員間での情報交換、専門家からの指導・助言、企業との連携等を図っている。

構成員

区分	構成員候補
学識者	神戸大学特命教授 川井 浩史
	国立環境研究所主任研究員 島袋 寛盛
	徳島大学客員教授 中西 敬
地域団体	相生湾自然再生会議
	NPO法人アマモ種子バンク
	江井ヶ島漁業協同組合
	(一社)須磨里海の会
企業	兵庫県環境保全管理者協会（日本製鉄株式会社）
研究機関	兵庫県立水産技術センター
	兵庫県環境研究センター
国	環境省近畿地方環境事務所
	国土交通省近畿地方整備局
行政	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、
	明石市、加古川市、高砂市、播磨町
	姫路市、相生市、たつの市、赤穂市
	洲本市、南あわじ市、淡路市
関係機関	兵庫県漁業協同組合連合会
	大阪湾広域臨海環境整備センター
	(公財)ひょうご環境創造協会
事務局	兵庫県

○ 藻場再生・創出ガイドブックの作成

令和6年度、アマモ場再生手法や法的手続き、護岸の状況、簡易な調査手法等を取りまとめたガイドブックを作成し、HP等へ公開した。

令和7年度は、活動団体がさらに使いやすいように工夫した、より実用的なガイドブックを作成する予定。

<令和7年度スケジュール（想定）>

9月頃

第1回連絡会議開催
藻場再生創出事業支援企業等での事例の紹介
ガイドブック骨子（案）の検討

2月頃

第2回連絡会議開催
ガイドブック（案）の策定
企業等での先進事例の紹介

○ ひょうごアマモ場再生・創出ガイドブック（一部をご紹介）

※無料でダウンロード可能です

ひょうご アマモ ガイドブック

検索

目次

はじめに	1
1 アマモ場とは	2
1.1 アマモの生態	2
1.2 アマモ場の役割	3
1.3 兵庫県内のアマモ場	5
2 アマモ場再生・創出の進め方	8
2.1 アマモ場再生・創出とは	8
2.2 候補地の状況を調べよう	10
2.3 アマモ場再生・創出について考えよう	16
2.4 計画を立てよう(Plan)	18
2.5 実行しよう(Do)	20
2.6 評価・検証し、改善しよう(Check, Action)	33
3 アマモ場再生・創出に関わる各種窓口など	40
3.1 アマモ場再生・創出活動の相談窓口	40
3.2 海岸保全活動団体(環境教育含む)一覧・活動区域 ...	41
4 アマモ場再生・創出事例など	44
4.1 先進的取組事例	44
4.2 沿岸域における自然共生サイトの認証事例	46
5 兵庫県におけるアマモ場再生・創出の実践事例集	49
参考情報	62

資料編	資-1
-----------	-----

ひょうご アマモ場再生・創出 ガイドブック



ひょうごブルーカーボン連絡会議

○ ひょうごアマモ場再生・創出ガイドブック（一部をご紹介）

※無料でダウンロード可能です

ひょうご アマモ ガイドブック

検索

2 アマモ場再生・創出の進め方

2.1 アマモ場再生・創出とは

過去にアマモ場が存在していたものの、現在は衰退または消滅している場所においてアマモ場を復活させることを、アマモ場の「再生」と呼ぶこととします。一方、過去にアマモ場が存在しなかった場所に、新たにアマモ場をつくることをアマモ場の「創出」と呼ぶこととします。

本章では、アマモ場再生・創出に必要な内容を、作業の順番に沿って整理しています。

アマモ場再生・創出を進めるにあたって、はじめにアマモが生育する環境を知る必要があります。アマモの生育に重要な環境条件を以下に示します。ただし、アマモの生育にはこれらの条件以外にも、p.13に示すような多くの要因が関係していることを理解しておく必要があります。

■ アマモまで日光が良く届く（水深が浅く、かつ干出ししない）

水深が深すぎると、日光が届かずにアマモの成長が悪くなるため、水深の浅い海域を選びましょう。逆に、浅すぎて干潮時に干出してしまう場所だと、アマモが枯死してしまうことがあります。

■ 海況が穏やかである

潮の流れが速く、波が高いほど、アマモの種や栄養株が流失しやすくなります。一方、潮の流れがほとんどないような場所では、アマモの葉の上に珪藻や浮泥などが堆積して光が遮られたり、水中の酸素が不足してしまうことがあるため、アマモは十分に育ちません。アマモが育つためには、一定の流れが必要ですが、潮の流れが速くない穏やかな海域を選ぶ必要があります。

■ 底質が砂泥である

底質を構成する土粒子が粗すぎたり、細かすぎたりすると、種子や栄養株の定着が悪くなります。アマモの生育には、砂や少し泥が混ざった砂の底質が好ましいです。

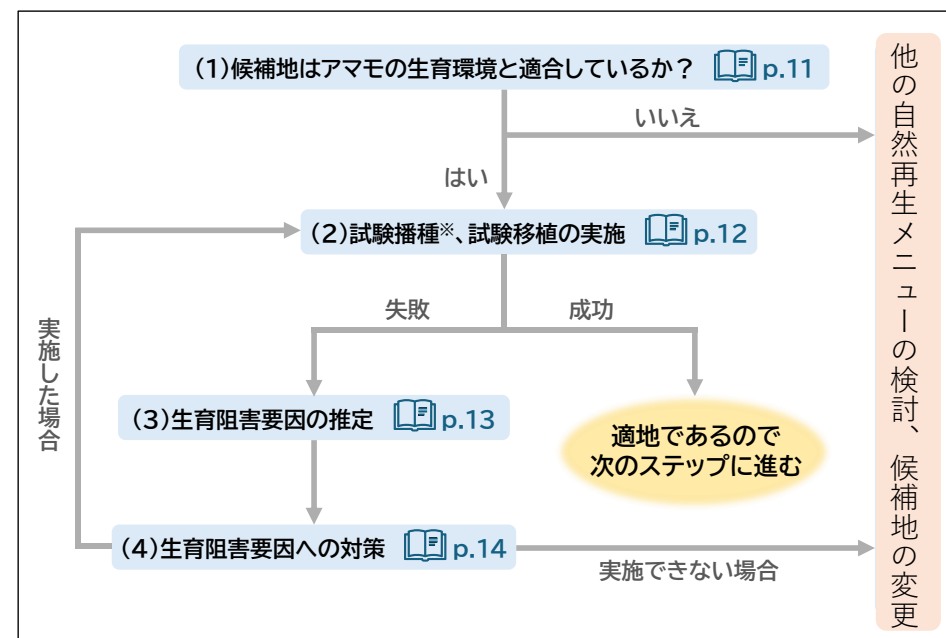
「アマモ場造成マニュアル」(熊本県、H26)、「海の自然再生ハンドブック-その計画・技術・実践-」第3巻 藻場編(海の自然再生ワーキンググループ、H15)を参考に作成

2.2 候補地の状況を調べよう(資料収集、検討)

事前に資料を集めたり、現地で調査を行うことにより、候補地がアマモの生育に適しているかどうかなど、候補地の状況を調べましょう。

候補地の状況の簡易な調べ方の一例を下図に示します。また、次のページ以降に下図の(1)～(4)の各項目についての具体的な調査手法を示しています。

より詳細な調べ方については、「アマモ類の自然再生ガイドライン」(水産庁・マリノフォーラム 21、H19) p.3-5～などに記載があります。



※播種：種をまくこと

候補地の状況の簡易な調査フロー



その場所に過去にアマモ場があったかどうか、生育環境として適しているかの判断材料の1つになるよ！

藻場・干潟保全・再生・創出推進事業及びブルーカーボンのクレジット化推進事業

(2) ブルーカーボン生態系の再生・創出支援事業（令和6年度～） ※今年度の募集は終了しています

藻場・干潟の保全・再生・創出に必要な費用を支援し、ブルーカーボンの再生・創出を目指す。

【内 容】

① 藻場創出の立ち上げ

補助対象者	県内で活動を行うNPO、大学、民間企業等
補助対象事業	現地調査、勉強会、先進地視察等
補助金の額	上限50万円（定額）

② 藻場等の保全活動

補助対象者	県内で活動を行うNPO、大学、民間企業等
補助対象事業	藻場等の再生活動、モニタリング調査
補助金の額	上限50万（定額）

採択団体数【①＋②】（うち、MOBA関係事業実施団体数）

令和6年度 5団体（2団体）

令和7年度 5団体（2団体）

令和7年度／

ブルーカーボン生態系の再生・創出
支援事業

兵庫県では、豊かで美しい「里海」を実現するため、藻場や干潟等の保全・再生・創出などに取り組む団体及び民間事業者を募集します。

助成対象者

活動の本拠地が兵庫県内にあり、県内で活動する団体及び民間事業者

対象事業

① 藻場創出立ち上げの取組

補助限度額：500千円

例）藻場創出のための適地選定や移植方法の検討等（勉強会、現地調査、先進地視察等）

② 藻場・干潟等の再生・創出の取組（創出面積等により事業成果が確認可能なもの）

補助限度額：500千円

例）アマモの生育や移植による藻場づくりなど（これら取組に関連する調査、環境学習等は補助対象）

募集期間

令和7年4月21日（月）～令和7年5月21日（水）

審査方法

書面審査及びヒアリングを実施し、採択団体を決定します。（6月上旬）

補助対象期間

令和7年6月中旬頃予定～令和8年3月13日（金）
（補助金交付決定後）

申込方法

水大気課あてにメールで申請書類を提出してください。

【お問い合わせ・申込先】

事業に関するお問い合わせ、申請書の提出は以下のあて先をお願いします。
兵庫県環境部水大気課里海再生班（〒650-8567兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1）
E-mail: mizutaki@pref.hyogo.lg.jp
TEL: 078-362-3468

【募集要項・申請書等はこちら↓】

ひょうごの環境ホームページ <https://www.konkyo.pref.hyogo.lg.jp/jp>
「水・土壌汚染」>「水質」>「ブルーカーボン生態系の再生・創出支援事業」からダウンロードできます。

藻場・干潟保全・再生・創出推進事業及びブルーカーボンのクレジット化推進事業

(3) ブルーカーボンの理解促進映像作成（令和6年度）

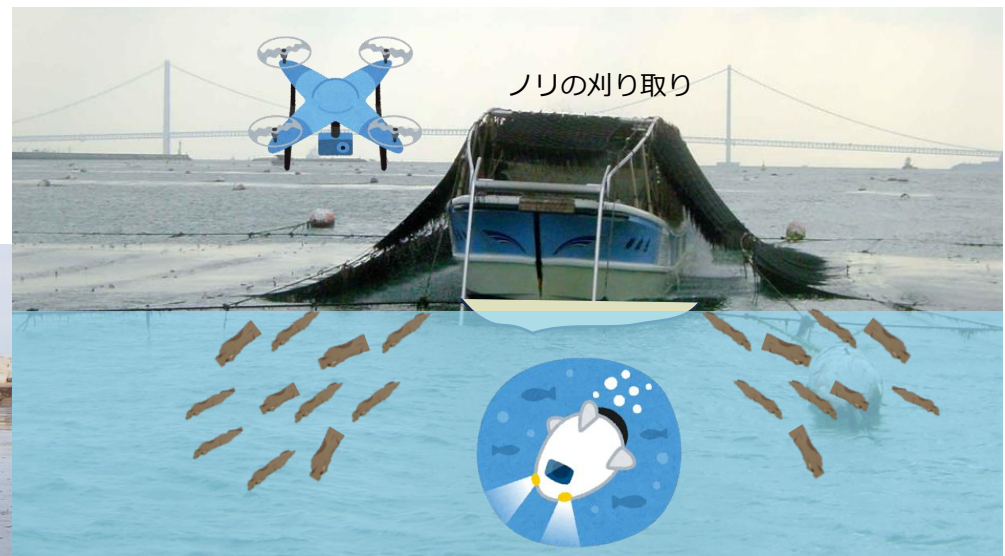
兵庫県の代表的な水産物である養殖ノリは、ブルーカーボンとしての機能も有している。

そこで、養殖ノリがブルーカーボンに資することを広く発信するとともに、藻場をはじめとするブルーカーボン生態系の重要性を広く伝え、県民の理解促進を図ることを目的に映像撮影を行った。

⇒ 令和7年度以降、当該映像を活用して普及啓発活動を行う。



アマモ場



ノリの刈り取り



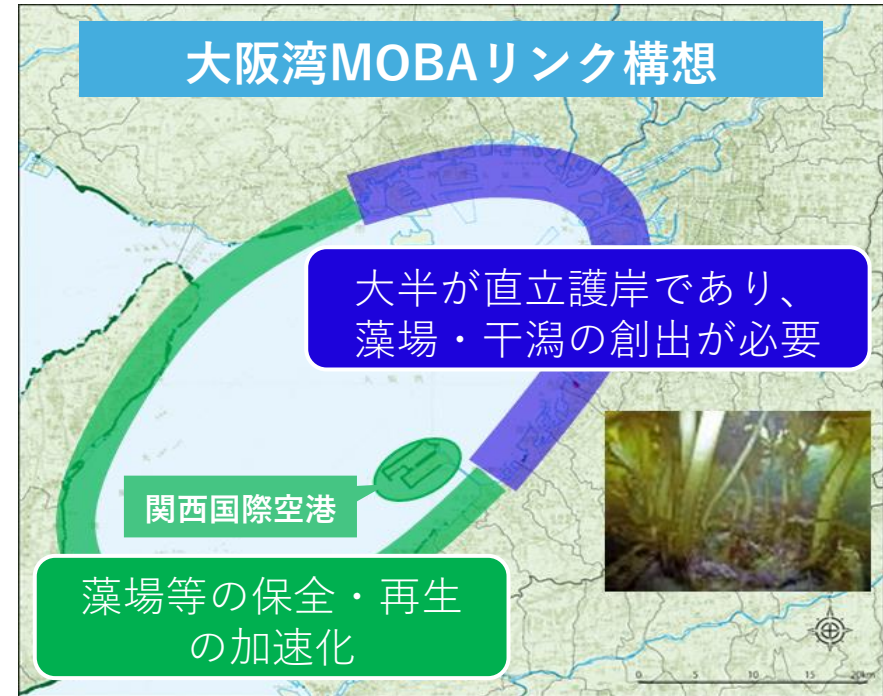
藻場・干潟保全・再生・創出推進事業及びブルーカーボンのクレジット化推進事業

（４）大阪湾奥部での藻場創出モデル事業（令和７年度～）

大阪湾MOBAリンク構想の実現を目指し、大阪湾奥部において藻場創出のモデル事業を実施する。

＜実施方法（案）＞

- ・ 県が関係者と調整のうえ、藻場創出の実証フィールド（直立護岸又は橋脚を想定）を提供
- ・ 実証事業実施者を募集
- ・ 選定された実証事業実施者が藻場創出活動を実施（港湾占有許可申請等を含む）



⇒ 具体的な実施方法やスケジュール等、詳細について検討中

○ 企業版ふるさと納税とは？

- ・企業が地方公共団体の地方創生の取組に寄附を行った場合に税額控除を行うものです。
- ・兵庫県への寄附を通じ、**SDGsの推進や地域活性化等に貢献し、株主からの信頼度や企業イメージを向上**できます。

※本制度を活用して兵庫県に**寄附ができるのは**
兵庫県外に本社（地方税法における「主たる事務所又は事業所」）
がある企業です。



寄附額（1回あたり10万円以上）

○ 税務上の高いメリット

- ・実質的な企業の負担が寄附額の約1割まで圧縮されます。

○ 「『豊かで美しいひょうごの海』を未来へつなぐプロジェクト」に寄附をお願いします！

- ・環境保全団体が行うアマモ場の創出活動などブルーカーボン生態系の創出に関する支援にも役立てられます。

詳細は兵庫県HP
をご覧ください



「豊かで美しいひょうごの海」を未来へつなぐプロジェクト

1 目的・概要

豊かな海づくりを漁業者はもとより、海に関する幅広い分野の事業者や県民の理解と参画のもとで実施することを目的として「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を令和5年7月に設立。「豊かで美しいひょうごの海の創出と継承」を県民総参加の運動として展開していくとともに、SDGs達成に向けた取組を推進

2 実施内容

- 大阪・関西万博パビリオンでの活動発表
「豊かで美しいひょうごの海」の実現に向けた取組を万博会場から世界に向けて発信
- ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催
県民参加の推進大会を開催し、豊かな海づくりの県民運動（普及啓発・会員連携）を一層推進
- 豊かな海づくり啓発活動の実施
県内の小中学校で豊かな海の出前授業講習会及び、調理実習等を実施するほか、関連イベントに出展しパネル展示やパンフレットの配布等による普及啓発を実施
- 大阪湾MOBAリンク構想の推進
兵庫県と大阪府が共同で設立した大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）は大阪湾を藻場の回廊にする大阪湾MOBAリンク構想を推進していくため、産官学一体となって藻場創出や情報発信、普及啓発を実施

3 企業様のメリット・協働できる内容

1 企業様のメリット

- 兵庫県の豊かな海づくり活動への支援
- 次代を担う若者が豊かな海づくり活動に関わる機会の創出

2 協働できる事項

- 豊かな海づくり活動の実施及び活動への参加

豊かな海づくり活動支援事業

団体や学校等が実施する海岸・森林・河川の清掃・保全活動、漁業体験、生き物観察会や魚食普及などのイベント開催、調査・研究活動等豊かな海づくりに資する取組を補助

〈令和6年度補助団体〉

- 県立御影高校環境科学部
- 相生湾自然再生学習会議
- 播磨灘を守るレストランプロジェクト
- NPO法人神戸海くら
- （一社）リア充ひょうご
- 明石市卸売市場運営協議会
- （株）フィッシングマックス
- 県立香住高校
- 兵庫運河の自然を再生するプロジェクト
- 明石おさかな普及協議会
- NPO法人うす潮を世界遺産にする淡路島民の会
- （一社）neo-wave
- 生活協同組合コープ神戸第6地区
- （株）ニッスイ姫路総合工場